

初めての出前授業 吉田千真先生の武者修行

今週は雪の連続でした。こうなると雪かきが必須です。

上杉の附属校園でも警備員さん方の力も借りながら総出で取り組みます。子どもたちの通学路の確保、先生方の駐車場、早く来た先生方から外へ行って除雪作業に汗を流します。

附属小の子どもたちは公共交通機関を利用して登校してくる児童も多いので、雪の影響がないことを祈りつつ、子どもたちの登校を見守っていると、「おはようございます。ありがとうございます。」の子どもたちの挨拶に本当に心が洗われる思いです。



中には公共交通機関を利用してランドセルと荷物をもって吹雪の中を必死に歩いてくる子もいます。そんな子どもたちを見るたびに附属小学校の職員としての職責の重さを感じます。

雪の影響と言えば、千真先生が23日(火)に女川小学校に行く予定でしたが翌日に延期することになりました。初めての出前授業に向けて、先輩に指導案を見てもらい、本校の4年生で授業をして、さあ女川へ、という矢先でしたが、雪が心配だったので、前日の夜9時過ぎに私から電話をして中止にするように指示をしました。その時の千真先生の落胆の様子が声から伝わってきました。「JRで行きますので・・・」「明日は無理しないで。」

翌日私から女川小学校の校長先生に事情を説明しお詫びするとともに、可能であれば別日に実施できないか相談したところ、すぐに翌日でOKの返事をいただきました。

24日(水)。どうやら無事女川に到着し、4年生で算数の授業を行いその後の授業を語る会も無事終わることができたようです。その日の夕方、女川小学校の校長先生から丁寧な御礼のお電話と「若い先生が来ると聞いていたので、だれか付き添いの先生もいるかと思ったら一人でおいでになったので驚きました。女川小学校も20代の教員が多いので、千真先生の授業からとても刺激を受けて学ぶことがたくさんありました。」と報告していただきました。

算数部に所属し、公開研究会でも算数の授業をしている千真先生ですが、授業では悔しい思いも少し残っているようで、「機会があればまた挑戦させてください」と力強い言葉を聞かせてくれました。出前授業は、私たち附属小で培っている指導のノウハウを公立学校の先生方に見て頂く機会であると同時に、実は私たち附属小の教員にとっても、本当に教材研究をして臨まないで太刀打ちできないので最高の研修の機会でもあります。

次の出前授業は白石市内で堀之内先生です。本校ではベテランの先生ですが、何度も何度も資料を読み込み、指導案を練っている姿勢には頭が下がります。堀之内先生クラスになると「ぜひ堀之内先生の授業を見たい」というオファーをいただきます。こんなよき先輩の姿を毎日見ている、若い先生が育たないはずはありません。

(文責：副校長 手代木)